

園より（5月） 繰り返す発熱について

5月に入り、入園・進級から1か月が経ったこともあり子どもたちも保護者の皆様も保育園の生活も慣れてきたころと思います。しかしこの頃によく見られるのが咳、鼻水や発熱…。熱も37.5度を超えると保育園としてはお迎えの連絡を入れさせていただきますが何度も繰り返す発熱に、お仕事でお忙しい中申し訳ないと思いつつも子どものことを一番に考えて連絡をいれさせていただいている次第です。何故、繰り返し熱が上がってしまうのだろう？と疑問に思うこともあるのではないのでしょうか。保育園としては「空気の入れ替え」「空気清浄機の稼働」「水分補給を多めにとる」等、できる限りの予防に努めてはいますが限界があるようです。

感染症やウイルスの専門家ではないので詳しいことは書けませんが、ご家庭での生活が主だったころは出会う人もご家族など限られた人であって、その分感染のリスクも低かったのだと思われます。集団生活になれば子ども同士の生活になり、多くの人にふれあいますので、その分風邪をひく可能性も高くなるのではないのでしょうか。特に低年齢のお子様に関しては、風邪などにかかった回数も少ないので初めて出会うウイルスなどが多いのでしょうし、免疫機能も未発達ですからどうしても咳・鼻水・発熱などを繰り返してしまうと思われます。入園したばかりのお子様であれば集団生活に慣れるまでの疲れなどもあると思いますのでなおさらかもしれません。保育園としては、保護者の皆様に安心して預けていただけるようにできる限りの対応をいたしますが、保育中の発熱などについてご理解いただければと思います。

（医療に関する詳しいことはかかりつけの医師にご相談ください）

